

シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、すべての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

「園児と高齢者のオンライン交流～コロナ禍でのチャレンジ～」

穴水町内社会福祉法人連絡会

取り組みの背景

穴水町内社会福祉法人連絡会は、町内6社会福祉法人で構成しており、地域における公益的な取組を連携して推進しています。

取組の中の1つとして、こども園に地域のお年寄りを招待し、交流をしながら、一緒に食事をとっていましたが、コロナの影響により、昨年3月より中止しています。この状況下でもできることを連絡会で協議し、今回、こども園の園児と高齢者施設のお年寄りとのオンライン交流にチャレンジしました。



以前の交流の様子
コロナ禍で、何もできないことを
もどかしく感じていました

取り組みの概要



双方の施設では、スクリーンに画像を映し出し
利用者・職員みんなで楽しみました。

まずは町社協が準備した Zoom に、こども園と高齢者施設、見学希望の法人が入室します。園児のお遊戯を披露した後は、園児とお年寄りが、じゃんけんやにらめっこで交流します。100歳のお年寄りとも5歳の園児と一緒に、「あんたがったどこさ♪」の手遊びをする姿に感激です。

園児からは「おばあちゃん元気そうやった。お話できてうれしかった。」お年寄りからは「楽しかった。子どもはかわいいね。」と満面の笑顔。画面越しとは言え、一方通行ではない、双方向の交流は大成功でした。

これからの取り組みについて

【平和こども園・日吉園長】子どもの健やかな育ちには、多くの人との出会いや交流が必要不可欠。特別なことではなく、普段の幼児教育の延長として取り組んでいます。

【養護老人ホーム朱鷺の苑・不二井施設長】家族との面会も制限せざるを得ない状況で、今日の交流を本当に喜んでいたことは、利用者の皆さんの笑顔でわかります。

【町社協・大島会長】最初はどうもいかか心配しましたが、オンライン交流は今後の1つの方法となると確信しました。連絡会の6法人でさらに話し合っていきたいです。



左より、
不二井施設長
大島会長、
日吉園長

【問い合わせ】穴水町内社会福祉法人連絡会 TEL0768-52-0378 (穴水町社協)

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇